

授業科目名・形態	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	脇山園恵・石岡和志・林宏二・古川博文	開講期	3年 後期
		単位数	1

【授業の主題】

本講は、精神保健福祉実習の意義について理解するとともに精神障害者のおかれている現状、生活の実態や生活上の困難について学習し、個別指導及び集団指導を通して精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術などを体得することを目的とする。また、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を習得し、具体的な体験や援助活動を専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。

【到達目標】

- 1) 精神保健福祉援助実習の意義について、実習の四者関係から記述できる。
- 2) 精神障害者の置かれている現状、生活の実態や生活上の困難について、見学学習などを通して知ることができる。
- 3) 実習施設・機関の概要とそこで必要となる専門的知識と技術について、調べ学習などを通して発表できる。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション、精神保健福祉援助実習と精神保健福祉援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義と目的
- 第 2回 精神保健福祉援助実習の構造①：実習の四者関係
- 第 3回 精神保健福祉援助実習の構造②：実習の三層構造（職場実習・職種実習・ソーシャルワーク実習）
- 第 4回 現場体験学習①：4年生実習報告会
- 第 5回 現場体験学習②：4年生実習体験談
- 第 6回 実習における基本姿勢
- 第 7回 精神保健医療福祉の現状に関する基本的な理解
- 第 8回 見学学習：障害福祉関係機関見学 ※見学先との日程調整により回の変更があり得る。
- 第 9回 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解
- 第 10回 実習施設等の基本的理解とそこで必要となる専門的知識と技術の理解①：精神科医療機関①
- 第 11回 実習施設等の基本的理解とそこで必要となる専門的知識と技術の理解②：精神科医療機関②
- 第 12回 実習施設等の基本的理解とそこで必要となる専門的知識と技術の理解③：障害福祉サービス事業所①
- 第 13回 実習施設等の基本的理解とそこで必要となる専門的知識と技術の理解④：障害福祉サービス事業所②
- 第 14回 実習施設等の基本的理解とそこで必要となる専門的知識と技術の理解⑥：行政機関、その他の実習施設①
- 第 15回 実習施設等の基本的理解とそこで必要となる専門的知識と技術の理解⑦：行政機関、その他の実習施設②

【授業実施方法】 基本的には講義と演習（個人・グループ）で行う。

【授業準備】

精神保健福祉法並びに障害者総合支援法について復習し、実習先の法的位置づけや精神障害者の置かれている現状などを理解して、授業に臨むこと。

【主な関連する科目】 精神保健福祉援助実習

【教科書等】

日本精神保健福祉士養成校協会編：精神保健福祉援助実習指導・実習（第2版），中央法規出版，2016.

【参考文献】 授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

提出物（ミニレポートなど）70%，グループ発表30%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

実習を効果的に進められるよう、これまでの学習や生活上の経験を活かしながら積極的・主体的に取り組んでください。1週間に複数回開講する時もあるので、遅刻・欠席がないよう自己管理してください。